

東山横断歩道橋の取り扱いに関する協議会（第1回）議事録

日時：令和6年7月18日（木）

場所：南平岸まちづくりセンター

出席者：地域の方：7人、学校関係者：1人、警察関係者：1人、札幌市11人

1 開会の挨拶

（建設局総務部道路管理課）

- ・東山横断歩道橋の取り扱いについて初めて地域へお話ししたのは令和2年。
- ・新型コロナ感染症の影響があったとはいえ、この時期の開催となったことお詫び申し上げる。
- ・この後今回の趣旨をお話しさせていただくが、忌憚なき意見をいただきたい。

2 出席者紹介（自己紹介）

3 協議会の開催趣旨（資料1）

（建設局総務部道路管理課）

- ・札幌市が管理している横断歩道橋は37橋、昭和40年代に多く建設され建設から50年近く経過し老朽化が進んでいる。
- ・横断歩道橋は定期的に点検を実施し、補修が必要な横断歩道橋については、計画的に補修を進めているところであるが、周辺環境の変化に伴い、利用者が少ないなど需要が減っている横断歩道橋については、札幌市から撤去・存続について提案を行っているところ。
- ・撤去・存続の提案については、平成24年度に有識者や地域の方を交え、横断歩道橋のあり方検討委員会を開催、提言を受け、平成25年度に横断歩道橋の撤去に関する考え方を整理し撤去候補を選定した。
- ・平成29年度に1回目の撤去候補の見直しを行っており、最近では令和4年度に利用実態調査を実施し、撤去候補となりそうな横断歩道橋について、昨年度、地域へ説明に伺いご意見いただき、今年度2橋を撤去候補に位置付けたところ。
- ・東山横断歩道橋はそのうちの1橋であり、このたび撤去・存続についての提案をすることに同意いただけたことから、正式に協議会を開催する運びとなった。
- ・撤去・存続についての議論をよろしくお願ひしたい。

4 撤去・存続についての提案（資料2）

（建設局総務部道路管理課）

資料2により説明。提案理由については下記のとおり

- ① 利用者数が令和4年10月の調査（平日12時間（7:00～19:00））で児童の利用者数が14人と少なく、東山小学校、平岸小学校の通学路に指定されていないこと。

- ② 横断歩道橋の階段及び支柱が、環状通の交差点部にあり見通しが悪いことから、ドライバーからの視認性や歩行者の安全性が損なわれていること。
- ③ 横断歩道橋の支柱により歩道の幅が狭くなってしまっており、バリアフリーの観点からも改善が必要な施設となっていること。
- ④ 周辺環境の変化に伴い、横断歩道橋の東側 60m、西側 130mに横断歩道が設置され、主要な歩行者動線としてそれらを利用し、道路を横断することができること。
- ⑤ 昭和 46 年（西暦 1971 年）に設置され、53 年経過しており老朽化が進んでいること。

以上から東山横断歩道橋の撤去、存続について提案する。

5 撤去、存続に関する意見交換

（平岸東山町内会）

- ・個人的に横断歩道橋を利用したことはない。
- ・この件についてスクールゾーン実行委員会で地域の方と話したが、特段意見は無かった。
- ・また、町内会の役員会で話した際には、無くとも良いのではという意見がほとんどであり、反対する方はいなかった。
- ・50 年近く経ち、生活様式も変わり、当該横断歩道橋が無くても生活に支障はないとの認識している。

（建設局土木部道路管理課）

- ・直近の利用実態調査では 171 人の利用がある。横断歩道橋へ資料 3 のような資料の掲示や本市 HP 等において、実際に利用されている方の意見を募集することを考えている。

（南平岸地区町内会連合会）

- ・利用されている方の声を丁寧に聞いて、進めていただきたい。

（平岸四区あゆみ町内会）

- ・当町内会は環状通を挟み 1 班～3 班は北側、4 班～6 班は南側と南北に分断されており、横断歩道橋を使用している。
- ・役員会の場で出来れば存続して欲しいという意見はあった。

（平岸地区町内会連合会）

- ・50 年経ち、環境も変わっている。存続も良いとは思うが、利用者が少なくなっているという事実も踏まえ対応できればと思う。

（南平岸まちづくりセンター）

- ・維持管理のコストについては、比較検討するために必要な情報と考える。参考まで教えていただきたい。

(建設局総務部道路管理課)

- ・年間維持費は、ロードヒーティングの電気代が 120 万円/橋、ほか保守点検、清掃を実施しており年間 145 万円/橋ほどかかっている。
- ・ほか塗装塗替え、ロードヒーティング更新、5 年に 1 回の定期点検の費用を年間に換算すると 210 万円/橋となり、1 橋当たり年間 355 万円ほどかかっていることになる。
- ・なお利用されている横断歩道橋については、計画的に修繕を行っているところ。
- ・修繕は塗装塗替えがメインで 3,500 万円ほどかかっている。塗装の耐用年数は 30 年ほどとなっており、30 年に 1 回程度塗替えが必要。

(平岸小学校)

- ・横断歩道橋のある 3 条 9 丁目から 10 丁目は平岸小学校の校区であり、地下鉄南北線を境に東山小学校との校区境になっている。
- ・この校区に住んでいる児童の通学路は平岸街道側に出て平岸街道沿いを歩くため、東山横断歩道橋は登下校で利用しない。
- ・放課後に横断歩道橋を使っている児童はいるかもしれないが、夏場は自転車で活動する子も多いので使っている子は少ないのでないかと思う。
- ・学校としてはあったら困るものではないが、無いと子供や保護者の通行に支障が出るという状況にはない。

(東山小学校 PTA)

- ・付近に住んでいる方の意見で、横断歩道橋の近くに横断歩道があるから支障はないと思うが、押ボタン式信号機はなかなか信号が変わらないため、赤信号になつてダッシュで渡る人がかなり多い。
- ・子供たちの横断に無理が生じる可能性もあるので、信号の変わるタイミングについて検討の余地があれば考えていただきたい。
- ・子供のころから横断歩道橋があることが普通の景色であったが、提示いただいた利用調査結果や維持管理費のことを考えると、当然撤去の話が出てくると感じた。
- ・横断歩道橋の撤去に付随して、押ボタン式信号機の変わるタイミングについては、心配していたところなのでよろしくお願いしたい。

(北海道警察)

- ・押ボタン式信号機の制御については、所轄の警察署ではなく管制センターで行っている。
- ・必ずできるものではないが検討することは出来るので、もし撤去の際に不都合等あれば警察から意見を伝えることは可能である。
- ・歩行者の安全は最優先である一方、道路事情を考えると車を規制することで逆に混乱を招き危険が生じることもあることから、バランスを取りながら考えていきたい。

6 今後の進め方について（資料3）

（建設局総務部道路管理課）

（1）地域への意見周知について

- ・各町内会、小学校において資料の回覧と掲示の依頼。

（2）市民意見の収集について

- ・本協議会の議論した内容について本市HPへ掲載し、併せてFAX、E-mail、HPで意見を募集。
- ・東山横断歩道橋に資料を掲示、意見を募集し、次回協議会までに意見を集約する。

（3）第2回協議会スケジュール

- ・9月下旬～10月上旬に開催予定。
- ・第2回協議会では収集した意見等を踏まえ東山横断歩道橋を存続するのか、撤去するのか最終的な方向性について議論する。
- ・もし、撤去するという結論となった場合には、撤去後の交通安全対策について議論し、結果を報告書にまとめる。撤去工事のスケジュールについては、最短で令和7年度に調査及び設計、令和8年度に撤去工事となる。

（平岸東山町内会）

- ・周知用の資料についてはQRコードが表示されている方が良いと思う。

（建設局総務部道路管理課）

- ・QRコードを表示した資料に修正する。

7 閉会